

取組名称	「終わらない服をつくろう。」お客様と共に歩むグッドライフなエコ活動			団体設立後の経過年数	60年
応募取組主体名称	青山商事株式会社	活動地域	日本	応募取組の活動年数	26年
取組主体の種類	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門 (概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください) / その他				
応募取組に関する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨	<p>大量生産大量廃棄への対応として、1998年から始まった不要衣類の回収と資源循環の取り組みを進化させ「WEAR SHIFT」BOXを全国の店舗に設置しお客様と共に歩むエコ活動を推進すると共に、服から服へ、循環型リサイクルにもチャレンジしています。また、回収衣類の一部を用いてリサイクル防災毛布を作製し大規模災害に見舞われた自治体へ寄贈、衣料の回収量に応じた森林保全活への寄付を通して「AOYAMAの森」づくりに取り組んでいます。</p>
実績の要旨	<p>2023年度は約355tの衣類を回収し、その99%をリユース或いはリサイクルしました。また、リサイクルウールを一部使用したコートやスーツの販売も行いました。2019年に開始した防災毛布の寄贈はこれまでに合計11自治体2,300枚となり自治体の防災活動にお役立ていただいています。2018年からの高知県梶原町への森林保全活動のための寄付(2023年度までに約1,100万円)は、「AOYAMAの森」づくりに繋がり、多様性のある森づくりに貢献しています。</p>

取組評価の要旨	環境への貢献	回収量に応じて森林保全活動に寄付を行い、高知県梶原町の「AOYAMAの森」を通して多様性のある森づくり、水源の確保に貢献しています。
	社会・経済への貢献	回収した衣類から防災毛布を作製し、過去に大規模な災害があった離島や遠隔地の地方自治体にこれまで合計2,300枚を寄贈しています。
	地域資源の活用	お客様が参加できるエコ活動として全国の店舗に設置した回収BOXで、お客様が不要になった衣類を自社、他社製品問わず回収しています。
	普及・汎用性	全国700以上ある店舗が窓口の不要衣類の回収量は2023年度で355t、全国展開の強みを活かしたサステナビリティ活動に取り組んでいます。
	革新・ユニーク性	不要衣類の回収を軸に、循環型リサイクル活動、防災毛布の作製と寄贈、森林保全活動への寄付と、その取り組みが広がっています。
	継続性	1998年から継続しているこの取り組みは、サーキュラーエコノミーへの挑戦などお客様と共にまだまだ進化し拡大していきます。

展望の要旨	WEAR SHIFTを拡大させていくことで、衣類回収という部分での社会的なインフラになっていくことを目指します。
-------	--